

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	送水幹線の二重化			
所管部局	水道局	部局長名	明神公平	予算事業名
所管部署	配水課	所属長名	森 博文	予算事業科目(平成25年度)

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け		施策取組方針	水道施設の耐震化等を推進するとともに、市民との連携や、他都市事業体との相互連携・応援体制の確立などによる防災対策を充実させます。 また、安全な水を確保し、突発的な水質汚染事故などに対応できるように、水質管理体制の強化を図ります。
施策の大綱	05 まちの環		
政策	28 安全安心の都市空間整備		
施策	88 水道ライフラインの強化		
2 事業の根拠・性格		法定受託事務	
法律・政令・省令			
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他(計画、覚書等)	高知市水道事業基本計画2007(基本施策3-2 バックアップ施設の整備)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	旧高知市内の約20万人の市民	
意図	どのような状態にしていくのか	重要送水幹線を二重化することにより、地震等災害時のバックアップ機能を確保するとともに、管路の耐震化により、将来にわたって安全性・安定性の向上を図る。	
手段	事業実施体制等	直営	事業開始年度 平成18年度
			事業終了年度 平成32年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	針水浄水場から、市内中央部に配水している九反田配水所までの送水幹線を二重化するもので、耐震機能を有する送水管を新設する。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	計画に対する実施の割合	計画した工事の進捗率
	B		
	C		

4 事業の実績等

		22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A 計画に対する実施の割合	目標	事業凍結	事業凍結	7%		
		実績			7%		
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)			630	634,370	
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				317,000
			その他 (千円)				274,340
			一般財源 (千円)	0	0	630	43,030
	翌年度への繰越額 (千円)			207,270			
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	0	7,400	7,400	
		正規職員 (千円)	0	0	7,400	7,400	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)			1.00	1.00	
		正規職員 (人)			1.00	1.00	
		その他 (人)					
	総コスト= ① + ② (千円)		0	0	8,030	641,770	
市民1人当たりコスト (円)		0	0	24			
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397			
					総コスト/年度末人口		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	<p>本事業は、高知市水道事業基本計画2007の基本目標に示されている災害対策の推進の中の重点施策に位置づけられている。</p> <p>また、市民の関心の高い災害対策の一環として、今後30年間に60%程度の確率で発生すると予測されている南海地震時にライフラインの機能を確保するために実施するものである。</p>
		B (3) 一部結びつく			
	C (1) あまり結びつかない				
	D (0) 結びつかない				
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	4.0	
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A			
	B (3) 概ね妥当である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	<p>今後予定している3、4、5工区についても、設計委託を考えているが、工事発注や工事監督等については水道技術職員で行う予定である。</p>
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A			
	B (3) 概ね効率的にできている				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	<p>本事業を行うことにより、旧高知市の給水区域の約2/3に送水している送水管が二重化され、地震時に対するライフライン確保の最重要課題がクリアされる。</p> <p>一般会計から、40%の繰り出しを受けている。</p>
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A			
	B (3) 概ね適正な負担割合である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 検討すべきである				
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--